

平成30年度第8回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録

日 時 平成31年3月27日（水）15時00分～17時15分

場 所 ホテルセンチュリー静岡 4階 クリスタルルーム

出席者 栗村、塩田、鳥居、野田、晝馬、細井、
石井、丹沢、木村、東郷、堀川、寺村、本橋、鈴木の各委員

欠席者 泉、大石、吉林の各委員

陪席者 伊東副学長、鈴木、村松の各監事、青木、木村、白井の各学長補佐

I 前回議事録について

平成30年度第6回及び第7回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 大学間連携について

議長から、浜松医科大学との法人統合及び大学再編について、資料1により提案があり、また、これまでの経緯、目指す方向性、教職員が抱える懸念への対応、今後検討する大学の名称、学内での議論等について説明があり、審議した。

なお、本会議欠席の学外委員から意見をいただいた旨紹介があった（資料配布）。

議長から、本会で審議し、3月28日に開催される国立大学法人静岡大学役員会で議決し、3月中に国立大学法人静岡国立大学機構設立及び大学再編に関する合意書（案）及び確認書（案）（以下、「合意書等」という。）に調印し、関係機関等との協議や浜松医科大学との具体的な協議を進めたい旨、説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（学内委員から出された主な意見とそれに対する議長のコメント）

- ・最初から2分割ありきの議論は疑問があるし、自治体から高い評価を得ていると学長は説明されるが、具体的にどこに説明されたのか。同窓会にも十分説明し異論はないと学長はおっしゃるが、3学部の同窓会から、基本姿勢や方針に付いて再考を求める申し入れがあった。ステークホルダーから熟議等をとの声明が出ているし、また教育研究評議会での賛否は議長を除けば13対13で拮抗しており、学内では十分な合意形成に至っていない。もう少し議論や合意形成のためにコミュニケーションを尽くすべきであるとの発言があり、議長から、3学部の同窓会や退職教員から議論が拙速すぎるとご意見をいただいているが、1年かけて議論をしたことや対話集会を行ったことについてご存知無く、正しい情報が伝わっていなかったこと、浜松工業会会長からはこの方向で進めたいとのご意見をいただいたこと、静岡キャンパスと浜松キャンパスでこの問題についてかなりの温度差があり、教育研究評議会でも、東西の評議員の比率自体が違うので採決をとることは適当ではないとの意見もあったとの発言があった。

- ・周りの学生に聞いたところ、静岡・浜松両キャンパス合同で活動しているサークルがあり、新東西両大学に分けた場合どうなるのか分からないので不安に感じているとの意見があった。反対意見の出ている山岳部については大学が分かっても引き続き合同で行うことを認めればよいと考えている。吹奏楽団など大会に出るサークルについては、大会運営組織に法人として出場できるよう交渉していくつもりであるとの発言があり、議長から、副学長を中心に引き続き丁寧に対応していきたいとの発言があった。

(学外委員から出された主な意見)

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

- ⊕：この段階で合意書等を締結する必要性についてお聞きしたい。合意書等だけ読むと再編の時期は明記されているがその他については詳細が詰めきれていないが企業では詳細を詰めてから発表する。このような状況で進めることで、すでに様々な報道があるだけになおさら問題を難しくするなど、リスクを伴うのではないかと懸念を持っており、どう対処していくのか。経営判断として、買収先の企業の従業員などには丁寧な説明を行うことが一般的であり、大学の場合と大きくは変わらない。本案については賛成ではあるが、教職員との丁寧な議論をもとに進めていく必要があるのではないかと。
- △：関係機関等との協議や国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）への申請等を考えると、法人統合及び大学再編について学内での意思決定を3月中に行いたいと考えている。
- ⊕：企業によって異なるが従業員に意見を聴いてから進めるのではなく、決めてから意見を聴く。本案は静岡大学を分断してしまうということよりも医学部と統合・再編できることの意義が大きい。企業においても統合・再編には不安が伴うが新しい発見をできることを考えて前向きに、それに向かうことが必要である。統合・再編案に対して賛成する。
- ⊕：統合に関しては賛成である。静岡大学というブランドは重要であり、大学名については浜松医科大学や国等との調整では譲らずに協議してほしい。長期経営計画をしっかりと組み、新しいイノベーションを起こせるような静岡大学のビジョンを示し、本案は、未来のある、夢のあることなので邁進してもらいたい。
- △：確認書の7では合意後、早急に連携協議会の下に浜松地区及び静岡地区における大学の将来像・振興策について検討する専門委員会を設置し、教職員との丁寧なコミュニケーションと合意に基づき進めることとしており、法人としてのブランド、大学としてのブランド作りに努めていきたい。
- ⊕：新大学による最初の入学者の受入は2022年度を目指すということでそれほど時間がないので高等学校で混乱が生じないように慎重に進めてほしい。また、浜松医科大学との法人統合及び大学再編によって教育レベルが下がらないようにしてほしい。
- △：入試については2年前に公示することになっているので、浜松医科大学との法人統合及び大学再編によって学部学科の変更はない予定ではあるが、混乱が

生じないよう慎重に進めたい。

㊦：本件について臨時の学長選考会議を開き、学長選考会議として3つの要望を学長に申し入れた。学長から「すべて、もっとも」と回答を受け、任務は果たしたと考えている。

(1) 静岡大学教職員を含めステークホルダーの納得が得られるよう、丁寧なコミュニケーションを図ること。

(2) 静岡キャンパスの教育研究活動の活性化に向けた議論を早急に行うこと。

(3) 大学間、キャンパス間、学部間の壁を低くし、共同プロジェクト等の連携・推進を加速させること。

㊦：どういう人材を地域に、あるいは日本に輩出するのか議論してほしい。これからの大学教育を考え、大学院については努力してきた実績をもとに、大きい議論をしてほしい。浜松医科大学との法人統合及び大学再編をテコにして県民、市民、産業界の期待の元に積極的に進めてほしい。

㊦：実質的には短時間の学内議論で支持が広がらず、教育研究評議会での票が僅差であったので心配がある。教職員は財産であるので疑問や失望感で本学を出て行ってしまわないか心配がある。もっと時間をかけて議論すべきではないか。

㊦：学内委員が最初に質問したことについて回答ください。

△：ステークホルダーとして自治体の意見について、知事については、もともと遠州大学と駿河大学のように大学を2つに分ける事を提案されており、本案に賛成していただいている。浜松市長にも賛成いただき、静岡市長からは、これを機会に様々な取り組みを進めてくださいとの意見をいただいている。

2 平成31年度の年度計画について

東郷委員から、平成31年度の年度計画について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 平成31年度予算編成について

堀川委員から、平成31年度予算編成について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 平成29年度剰余金の使途について

堀川委員から、平成29年度剰余金の使途について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 静岡大学研究フェローに対する報奨金規程の制定について

木村委員から、静岡大学研究フェローに対する報奨金規程の制定について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 「国立大学法人静岡授業料等金体系規則」等の一部改正について

堀川委員から、卒業生等を対象とした各種証明書発行手数料を徴収するため「国立大学法人静岡授業料等金体系規則」等の一部改正について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 就業規則の一部改正について

堀川委員から、就業規則の一部改正について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 国立大学法人静岡大学教職員休暇等規程及び国立大学法人静岡大学非常勤雇用教職員休暇等規程の一部改正について

堀川委員から、国立大学法人静岡大学教職員休暇等規程及び国立大学法人静岡大学非常勤雇用教職員休暇等規程の一部改正について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 静岡大学役員の報酬について

議長から、静岡大学役員の報酬について、資料9により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 次期役員・部局長等候補者について

議長から、次期役員・部局長等候補者について、資料10により報告があった。

2 主要会議の委員等の学長が指名する者について

議長から、主要会議の委員等の学長が指名する者について、資料11により報告があった。

3 平成29年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置状況について

東郷委員から、平成29年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置状況について、資料12により報告があった。

4 平成31年度国際交流基金事業の基本方針と事業資金について

鈴木委員から、平成31年度国際交流基金事業の基本方針と事業資金について、資料13により報告があった。

5 長期借入金償還実施状況について

堀川委員から、長期借入金償還実施状況について、資料14により報告があった。

Ⅳ その他

1 平成31年度国立大学法人静岡大学経営協議会の開催日程について

議長から、平成31年度国立大学法人静岡大学経営協議会の開催日程について、

資料15により案内があり出席依頼があった。

2 静岡大学関連記事

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

3 静岡大学広報誌サクセス2019春号について

議長から、静岡大学広報誌サクセス2019春号の紹介があった。

4 静岡大学超領域研究推進本部ニュースレターについて

議長から、静岡大学超領域研究推進本部ニュースレターVOL.12の紹介があった。

以上